

議会だより

題字は東脊振中3年・森山夏帆さん



Vol 71

令和6年 12月議会号

【第71号の内容】

- 議長 新年のごあいさつ ……2
- 特集／男女共同参画 ……3
- 12月定例会・臨時会 ……4
- 賛否状況 ……5
- 一般質問／9人が登壇 ……6
- 議会の主な活動・編集後記 ……16

一般質問ページのQRコードを読み込んでいただきますとYouTubeにて配信している一般質問の動画が閲覧できます。



議員が原稿作成・編集した
議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ティー&ビー 【発行年月日】令和7年1月30日

吉野ヶ里町議会がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町ホームページ

<http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>にアクセスし、「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリック!!

謹賀新年



あけましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、謹んでお喜び申し上げます。

町議会を代表しまして、新年のご挨拶を申し上げます。
さて、昨年は昭和51年の若楠国体以来、47年ぶりに佐賀で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、佐賀県勢の活躍に大いに盛り上がりました。本町でもバレーボールとハンドボールの2種目が開催され、他県からの来場者で会場は満員になり、吉野ヶ里町を全国にPR出来た絶好の機会となりました。

ところで、本町では吉野ヶ里町統合庁舎の入札が終わり、令和8年7月末の完成に向けて工事が始まります。吉野ヶ里町の中心地づくりのスタートであり、更なる発展に期待するばかりですが、しっかりと執行機関を監視する役目を務めるよう努力致します。
そして、無投票当選から3年、残る任期も1年ちよつととなりました。我々議員は選ばれてなんぼの世界、令和8年4月の改選時には志を持つ方に多数挑戦をして頂きますようお願い致します。

今後とも議員自ら襟を正し、真摯に活動に取り組み、町民の皆様と共に歩む議会を目指してまいりますので、一層の叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。
最後に、町民の皆様すべての弥栄を願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

吉野ヶ里町議会議長 馬場 茂

吉野ヶ里町LINE公式アカウントで 議会情報を入手しませんか！



令和6年10月21日より吉野ヶ里町LINE公式アカウントが開始され、議会の定例会情報や一般質問のYouTube配信情報等を配信しております。
友達登録後に受信設定で議会情報を受け取るにチェックをいれると議会情報を入手できます。

詳しい説明はこちらから
吉野ヶ里町HPの説明ページ



友達登録用QRコード



未来を創る

男女共同参画

「一人ひとりの声がまちを変える力になる」

「政治参画」という言葉を聞くと、議員や選挙など、特定の活動を思い浮かべる方が多いかもしれません。

しかし、政治への関わり方はそれだけではありません。日常生活の中で感じた「こうだったらいいのにな」という思いを言葉にし、周囲と共有しながら地域をより良くするための提案を伝え、考えるだけでも立派な政治参画のひとつです。



その声を生み出すのは、日々の暮らしを大切にする皆さん一人ひとりで。ご近所での会話、地域イベントへの参加、アンケートでの意見提出など、どんな小さな行動もまちづくりにつながる大きな力となります。

「自分の声は小さいから」と諦めることなく、是非その考えを言葉にしてみてください。その一つひとつが重なり、より豊かで住みよい吉野ヶ里町を築く大きな力になります。

まちづくりは、一人ではなく、みんなで作り上げていくものです。

女性が政治に参画することは、単に議会の男女比を調整するためではなく、地域の多様な課題を多角的に捉え、生活者に寄り添う政策を実現するために必要です。育児、介護、地域活動など、生活者としての気づきは、地域社会をより良くする大切な視点です。

例えば、子育て中の母親が「もっと

安心して利用できる公共施設があれば助かる」と思うことや、高齢者の方が「移動手段を増やしてほしい」と感じることは、その声自体がまちづくりの大切な一歩です。日々の暮らしの中の「こうだったらいいな」という思いを言葉にし、周囲と共有することが、まちの未来を少しずつ形にしていけます。

議会において、私自身も女性議員として活動を始めた頃、「女性議員だから何ができるのか」と自問することがありました。しかし、

「同じ課題でも、違う視点から意見を伝えることに大きな意味がある」という言葉をきっかけに、自分の視点を大切にするようになりました。その視点や疑問こそが、まちの課題を解決するための一歩になると信じて活動を続けています。

違う角度の意見を出せることは、多様化を生かしたまちづくりの原点です。性別や年齢、立場に関わらず誰もが声をあげることが出来るよう、私たち議員は、これからも町民の皆さまと共に歩みながら、思いを形にできる町づくりを進めていきたいと思えます。

誰でも、一歩踏み出せる

佐賀県内の町議から県議までが集う超党派の「佐賀県女性議員ネットワーク」では、年に数回の研修会を開催し、他の市町と情報交換を行いながら地域課題の解決に向けた連携を深めています。

また、「佐賀・女性政治塾」では、政治参画を学ぶ会場としてセミナーが開かれており、多様な視点を共有できる機会があります。



昨年、アバンセで行われた「政治参画セミナー」にて、パネリストとして参加し、議員になったきっかけや活動内容をお話しました。

令和6年第4回 12月議会定例会

今期定例会は11月29日から、12月10日までの12日間の会期で開催された。
提案された議案は条例7件、補正予算6件、専決処分1件、指定管理2件、請負契約1件、規約変更1件の計18議案を審議し可決した。一般質問には9名が登壇した。
令和6年第3回臨時会が10月17日に開催され、その他1件を審議し可決した。

条例関係

- 町職員の給与に関する条例及び町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
- 佐賀県人事委員会勧告に鑑み、町職員等に対して支給する給与の二部を改定するため。
- 町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び町長副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 町報酬審議会の答申に鑑み、特別職の報酬等を改正するため。
※詳細については3月号にて特集予定。
- 町職員の特殊勤務手当



下中杖児童公園



アドベンチャーバレーSAGA

指定管理者の指定

- 吉野ヶ里町税条例の一部を改正する条例
- 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、寄附金税額控除の適用に関する規定等の整備が必要のため。
- 町森林体験施設の指定管理者の指定について
- 株式会社フォレストアドベンチャー
代表取締役 志村辰也
※指定の期間
令和7年4月1日から
令和12年3月31日まで



文化体育館

請負契約の締結

- 吉野ヶ里町統合庁舎新築工事請負契約の締結について
- 契約の方法
条件付一般競争入札
※契約金額
39億4900万円
※契約の相手方
松尾・牟田建設共同企

補正予算

- 令和6年度一般会計補正予算(第6号)
- 令和6年度一般会計補正予算(第7号)
- 歳入歳出予算の総額にそれぞれ11億7千174万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ134億6千973万9千円とする。
※ふるさと応援寄附金の増額による。



統合庁舎予定地

町文化体育館の指定管理者の指定について

- 吉野ヶ里町スポーツ・文化創造コミュニティ代表企業 コナミスポーツ株式会社
代表取締役社長 室田健志

業体

※工期
議決日から令和8年7月31日まで

10月臨時会 12月定例会 案件賛否状況

	第3回(10月)臨時会		第4回(12月)定例会																	
	損害賠償の額を定め和解することについて	専決処分の承認を求めることについて【令和6年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第5号)】	条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町職員の給与に関する条例及び吉野ヶ里町一般職の任期付職員の採用等に関する条例	給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び町長、副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例	費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町税条例の一部を改正する条例	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	吉野ヶ里町農村公園条例の一部を改正する条例	佐賀県市町総合事務組合規約の変更について	吉野ヶ里町統合庁舎新築工事請負契約の締結について	吉野ヶ里町森林体験施設の指定管理者の指定について	吉野ヶ里町文化体育館の指定管理者の指定について	令和6年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第6号)	令和6年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第7号)	令和6年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	令和6年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	令和6年度吉野ヶ里町下水道事業会計補正予算(第2号)	令和6年度吉野ヶ里町下水道事業会計補正予算(第3号)
結 果	可決	承認	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
表 決 数	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇	11 〇
鶴 恵 美 子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中 村 裕 一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木 下 大 学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小 川 勝 利	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生 島 信 一 郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉 富 光 三 郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古 川 清 春	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古 川 輝 英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筒 井 佐 千 生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多 良 光 英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
森 田 浩 文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
馬 場 茂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

デマンドタクシー「よしくる」の更なる改善は



鶴 恵美子
議員



財政協働課長

待ち時間が長くなる
昼交代時のみ
3台目の運行を検討したい

Q 質問 昨年10月にリニューアルされ町内どこにでも行くことができたが、利用しやすくなったが、1台運行になる昼交代の時間帯に不便を感じるというご意見がある。3台目の運行を検討出

来ないか。

A 答弁 財政協働課長 昼交代に待ち時間が極端に長くなるという意見を頂いている。その時間運行経費等を考慮し、検討したい。

Q 質問 土日祝日の運行を望む声も多いが検討出来ないか。

A 答弁 財政協働課長 運大半の医療機関が休診となり、利用者の減少が予測されるため、現時点での運行計画はない。

Q 質問 今後の充実策として検討する場はあるか。

A 答弁 財政協働課長 「地域公共交通活



乗合型デマンドタクシー「よしくる」

性化協議会」にて話し合いの場が設けられている。今後は、アンケートを通じてニーズを把握し、協議したい。
※他の質問
●「よしくる」でも高齢者割引の検討について
●交通網の整備について
●高齢者支援サービスの充実について
●支援窓口の一元制について

Q 質問 吉野ヶ里歴史公園は全国的にも有名な文化財を抱え、我が町の大きな財産でもある。町の歴史や文化に触れ

人と歴史が輝くまちづくりについて



子ども達の副教材として発行された「よしのがり読本」

にに応じて適宜対応している。

Q 質問 郷土愛を育むために学校で取組まれていることは。

A 答弁 学校教育課長 「みらい発見コンテスト」の実施や各学校で「ふるさと読本」を活用している。

※他の質問
●「地域通貨」の計画について

土地利用構想を示すべきでは



古川 輝英
議員



企画調整課長

来年度以降
地区計画の作成に取り掛かる

Q 質問 民と民との開発が多くあると思われるが、町が土地利用構想を示し、土地開発を行うべきではないか。

A 答弁 企画調整課長 今年度、県において都市計画マスタープランの調査が行われ、審議会を経て計画が策定されていく。

今後、県の計画とも整合性をとりながら来年度以降、地区計画の作成に取り掛かり、早期に土地利用構想（用途地域など）を示していきたい。

Q 質問 今後、SUMCOの進出に向けて関連会社の進出、住宅の建設など、今まで以上に開

発があると思われるが、どう考えるか。

A 答弁 町長 下石動地区の状態になっっている。

インター周辺部を決め縦に国道385号があり南部に久留米方面に行く神埼北茂安線がある。途中に3本の県道があり、その区域の中に土地計画を作りたい。

農地保全については、保全地域には建物を建てない状況を作らなければならない。

令和7年度予算に計上する。

Q 質問 過去3年間の農用地の面積は。

過去3年間の農用地

	令和3年		令和4年		令和5年	
	面積(ha)	比率(%)	面積(ha)	比率(%)	面積(ha)	比率(%)
農用地	872	19.8	866	19.7	861	19.6
田	811	18.4	805	18.3	800	18.2
畑	61	1.4	61	1.4	61	1.4
町全体	4,399	100.0	4,399	100.0	4,399	100.0

第2次吉野ヶ里町国土利用計画目標値

	①基準年/令和元年		中間年/令和6年		②目標/令和11年		①-②
	面積(ha)	比率(%)	面積(ha)	比率(%)	面積(ha)	比率(%)	
農用地	879	20.0	863	19.6	827	18.8	-52
森林	2,040	46.4	2,038	46.3	2,038	46.3	-2
原野	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0
水面・河川・水路	198	4.5	198	4.5	198	4.5	0
道路	222	5.0	225	5.1	228	5.2	6
宅地	492	11.2	523	11.9	563	12.8	71
住宅地	230	5.2	242	5.5	253	5.8	23
工業用地	74	1.7	78	1.8	97	2.2	23
その他	188	4.3	203	4.6	213	4.8	25
その他	568	12.9	552	12.6	545	12.4	-23
合計	4,399	100	4,399	100	4,399	100	0

Q 質問 近年、開発行為が行われ、優良農地が減少しているが、どのように考えているのか。

A 答弁 農林課長 開発行為が行われている農地は農振除外、転用の許可要件を満たしている農地である。

今後、人口の減少や農業者の減少により優良農地も減少していくと危惧している。

耕作放棄地が拡大して

いる中山間地への開発を誘導していきたい。

畑刈交差点付近の問題について

Q 質問 交差点付近は、開発が行われているが、改良の現況は。

A 答弁 建設事業課長 県道佐賀川久保鳥栖線の畑刈交差点を含む改良計画は、地区からの要望を受け、町も県に対して要望しており、現在、道路概略設計を行い、今後、地区との意見交換等を予定している。

A 答弁 町長 図面が出来明できる段階になった。今後、用地を相談される町も後押ししていく。

Q 質問 町道の歩道部に水門の操作部がか

かって狭くなっており、危険である。平成27年に指摘されているが。

A 答弁 農林課長 今後、調査を行い、関係機関と協議する。

町の有害鳥獣被害の現状と対策について



小川 勝利
議員



農林課長

広域的な駆除対策を確立し
駆除を行う

Q 質問 猪の生息は、もともと一度に2〜3匹の子を産むものだったが、近年では7〜10匹産むことが確認されている。繁殖力が3・5倍に増えており、野生の猪が猪豚になっていることも一因と考えられる。

令和5年度の調査では、神崎市郡管内において約800頭の野生生息が確認されており、吉野ヶ里町では毎年800〜1000頭増加しているという計算になる。このままではさらに猪が増え続け、被害が拡大する恐れがあるが、どのように考えているのか。

A 答弁 農林課長 何も対策をしないと猪は増えていく。本町において、有害鳥獣対策について佐賀市、神崎市、佐賀県農業協同組合、森林組合で広域的な駆除対策を確立し、適正かつ円滑な駆除を行うことと、農林作物等の被害防止及び民生の安定を図ることを目的に、佐賀北部地域鳥獣広域駆除対策協議会で活動を行っており、駆除隊（猟友会）に対して捕獲頭数に対する活動補助などを行っている。猪の捕獲頭数は、神埼市郡管内で令和3年度が780頭、4年度が1310頭、5年度が570頭、6年度（10月末まで）が770頭となっている。

猪を捕獲するには、狩猟免許を取得する必要がある。捕獲従事者の減少や高齢化が課題となっている。このような中、人材確保や捕獲技術の継承を図るには、免許を持たない人を含めて地域ぐるみでの捕獲体制の整備を図る必要があると考える。

Q 質問 今年は猪の出現が異常に多く発生している。猪は本来、夜行性の動物だが、日中にも出現するようになっており安全面が懸念される。町はどのように考えているのか。

A 答弁 農林課長 猪などが出現した際には、緊急に対応が迫られる場合もあることから、予め関係機関との連絡体制を整備しておく必要がある。また、猪などはいつ出没するか分からないことから、閉庁時（土日・祝日・夜間）の連絡体制についても整備しておく必要がある。さらに、共有すべき情報を整理し、どの関係機関に連絡があっても情報共有ができるようにしておくことが重要だ。



捕獲された野生の猪

現在、農林課内の緊急連絡体制、関係機関及び情報共有を含めた通報連絡体制は整えているが、より具体化したマニュアルを検討したいと思う。

暴走族が激増しているが対策は



森田 浩文
議員



町長

犯罪行為が無いので
明確な対策が取れず
警察も苦慮

Q 質問 国道385号沿線を中心に、暴走族の往来が激化している。状況は。

A 答弁 総務課長 暴走を行く人たちは、顔見知りではなくSNS等で日時や場所を呼びかけ集まっている。町外や県外の者が多く県全体で取り締まりを強化する必要があるとのことだ。

A 答弁 町長 SNS等では、暴走族が集まっているが、道の駅の性質上駐車場の閉鎖も出来ない。防犯カメラを増やし駐車場の明るくするなど対策を図りたい。パトロールを増やす要請もしている。



猫のTNR活動が望まれる

猫のTNR活動について

Q 質問 人の暮らしの環境保全のために、繁殖力旺盛な猫への対策が期待されているが今後の

取り組みは。

A 答弁 住民課長 TNR活動（猫を捕獲後去勢して元の場所へ戻す）は、猫の殺処分の抑制や地域環境の改善に効果的。

しかし依然として猫に関する苦情があり、地域猫活動に取り組み団体への育成や助成を早急に取り組むべきと考える。

SNSと広報戦略について

Q 質問 2024年は世界50か国以上で選挙が行われた。主権者はSNSで情報を得る時代。自治体運営でもSNSを活用した戦略的広報が求められる。



町のHPに表示されたLINEの案内

本町の状況は。

A 答弁 財政協働課長 令和5年度の町HPの運営状況は、閲覧数で13万539人である。フォロワー数906名の町公式インスタグラムも開設し情報発信に努めている。

A 答弁 まち未来課長 町のLINE公式アカウントを10月21日より公開。11月26日時点で766人が「友だち」追加されている。

加されている。

Q 質問 本町HPのトップ画面の分かりやすい場所とLINEのQRコードを表示し、HP上からもLINEの友だち増を図る考えは。

A 答弁 まち未来課長 QRコードをHP上に表示する事は技術的に困難ではないので、速やかに対応する。

Q 質問 自治体のHPは情報量が多く、本町HPも必要な情報にたどり着くまでに時間を要し分かりにくい。また、産業用地拡大で農地減少化が明白である。自然豊かな中山間地の魅力をネットを使って幅広くPRし、農業移住者や新規就農者増を図る考えは。

A 答弁 町長 来年度には開発地と農地と区分けしていく。自然を守り農地を守っていく想いは強い。



筒井 千生
議員



町 長

側道を本線として
活用できないか検討している

高速インターから直進して下石動への道路整備は

Q 質問 町民の生活道路である国道385号と県道佐賀川久保鳥栖線が交差する中副交差点。現在も渋滞がひどく対策が必要である。文化体育館建設時に、当時の議会と協議したテニスコート南側から西側への農道拡幅で問題になった暗渠排水の補助金返還はまだ発生するのか。

A 答弁 農林課長 農道上三津東1号線に隣接するほ場の暗渠排水工事は、施工時期が平成25年、26年度であり、10年経過しており、補助金返還は発生しない。

Q 質問 今後、385号の那珂川市の道路改

良がなされたなら、本町への車の流入がさらに増加する。渋滞緩和のためにも道路整備をすべきではないか。

A 答弁 町長 385号の側道を下りの本線として増やすことが出来ないか考えている。



385号の側道

Q 質問 畑刈交差点北の開

A 答弁 建設事業課長 交差点北東部に29区画約8100㎡が完了。また、工場予定地が約3万9800㎡の開発許可申請が提出されている。さらに、高速南西箇所と同じく工場予定地約2万1600㎡が、県の事前審査会へ申請をされている。



民間開発の宅地造成

Q 質問 現在、日常的に畑刈交差点から中副交差点まで渋滞しており、さらに混雑する。この対策は。

A 答弁 建設事業課長 新たな道路整備計画はない。

Q 質問 立野地区にSUMCOが創業し、その関連企業等が進出した場合、中副交差点の更なる渋滞が考えられる。インターから直進し、下石動の開発地へ通じる道路整備計画、拡大を検討できないか。



インターから東への道路整備

A 答弁 町長 新設道路は莫大な事業費がかかる。

かるので、385号の側道拡幅で対応したい。

人と歴史が輝くまちづくりについて

Q 質問 文化体育館は、町民の健康増進、健康寿命の延伸を図るために建てられた施設と思うが、予約も取りづらく高齢者のウォーキングの方からも料金を取られる。健康増進等の推進からい

A 答弁 町長 町民のために吉野ヶ里の日を設定したり、ウォーキングの減免等を検討したい。

Q 質問 熱中症警戒アラートでイベント、大会が中止・延期にならない対策を講じる必要があると思うが。

A 答弁 社会教育課長 快

駅東駐輪場の維持管理は



古川 清春
議員



総務課長

仮設ではあるが管理する

Q 質問 防犯対策について駅北・南駐輪場の現状。また、新設された駅東駐輪場はいつから使用されているか。

A 答弁 総務課長 吉野ヶ里公園駅北駐輪場は、駅コミュニティホールの指定管理者に管理していただいている。

新設した駅東駐輪場は9月5日から使用されている。

駅南・東駐輪場は入口付近に集中して自転車を止めるため、整然とした列になっていない。

Q 質問 駅北・南・東駐輪場の利用者は駅北バイク11台、駅東駐輪場



新設した駅東駐輪場

で自転車143台、バイク3台、駅南駐輪場は自転車64台が利用しているが、防犯対策は。

A 答弁 総務課長 防犯対策として、防犯カ



駅南駐輪場の現状

メラや防犯灯の設置、「施錠重点対象駐輪場」等の看板設置を行っている。駅東駐輪場にも防犯カメラの発注は終わっており、近日中に設置予定

である。

また、防犯灯についても発注準備を進めている。

交通安全対策について

Q 質問 交通安全対策について県・町内の事故発生状況は。

A 答弁 総務課長 令和6年10月末現在の佐賀県内の事故発生状況は、人身事故2159件、死亡者数21名と発生は減少しているが、死亡者数は大幅増となっている。

町内の状況は、9月末現在、発生地別の交通死亡事故は0件、人身事故発生件数は50件、人口1万人あたりの発生件数は県内3位、居住地別では34件、県内9位となっている。

Q 質問 防犯カメラ・街路灯の設置状況は。

A 答弁 総務課長 通学路などへの安全・安心カメラの設置は令和5年度から実施しており、

開催日の見直しについては、現在のところ利用者からの不満や要望がないため、見直しを行う考えはない。

Q 質問 司法書士・弁護士による無料相談について現状は。

A 答弁 商工観光課長 吉野ヶ里町における司法書士相談については、毎月第2木曜日の午後1時から3時まで、東脊振庁舎2階で開催し、相談時間は原則として30分程度である。

相談件数の実績は、令和3年度13件、4年度33件、5年度27件、6年度は11月末時点で20件となっている。

駅前交差点改良工事完了予定時期は



吉富光三郎
議員



建設事業課長

未定である

Q 質問 駅前交差点は以前から交通量は多いが、県営産業用地の造成工事もあり、ダンブカーの通行も多い。

A 答弁 建設事業課長 国線からの久留米ナンバーの車も多く、朝夕の渋滞は勿論だが雨天時の朝夕には国道に車が出出る状況である。そこで駅前交差点改良工事歩道拡幅工事の現在までの進捗状況はどうなっているのか。

おり、令和5年度末までにおける事業の進捗状況は17件の「用地・補償」が済となっている。令和6年度、事業費9000万円にて現在「用地・補償」の交渉を行っている。

Q 質問 平成28年の地権者説明会では佐賀国道事務所の方が7、8年後の完成を目指していると言われたが、今後の完成予定時期は。

A 答弁 建設事業課長 完未定とのこと。佐賀国道事務所としては、早期完成に向けて事業用地取得等として関係地権者と交渉を進めていくとのことである。



早期完成が待たれる駅前交差点

駅南口東側について

Q 質問 以前からあった駐輪場が借地契約を終了され、去年9月末駅南駐輪場が2箇所から1

箇所となり、自転車歩道まであふれかえっている現状。町の素早い判断で駅南口東側の土地を取得し、現在駐輪場として活用されているが、その付近の今後の開発予定はどうなっているのか。



駅南口の東側駐輪場

地域おこし協力隊について

Q 質問 以前、わが町でも地域おこし協力隊の方がいたが、任期途中で辞められた。県内の市町では任期満了されても、そのまま定住されたり活躍されている。我が町で今後活用の考えは。

A 答弁 副町長 地域おこし協力隊については国が令和8年度の目標を全国で1万人に設定し特別交付税措置の拡充を図る中、佐賀県でも、地域おこし協力隊導入プロジェクト推進協議会を立ち上げた。我が町でも財政協働課、商工観光課、農林課で今後の活用を検討している。

物価高の行政サービスへの影響は



生島信一郎
議員



財政協働課長

財政負担に極端な影響はない

Q 質問 2021年来の物価高が我々国民の生活に大きな影響を与えているが、行政サービスも行う上でのコスト上昇は起きているか。

A 答弁 財政協働課長 公共施設の電気料金を例に挙げると、令和3年度から令和4年度にかけて18%のコスト増、令和5年度は国の電気料金補助により12%減となっている。

消耗品や備品の購入は物品ごとに見ると増額が目立つが、3%以内の上昇率が多数を占めており、緩やかに価格は上昇している。現時点では財政負担に極端な影響は出

ていない状況である。

Q 質問 町の業務の一部や公共施設の指定管理などを民間に委託しているが、影響はないか。

A 答弁 財政協働課長 警備、清掃は3年間の長期継続契約を結び、3年前と比較して警備は14%、清掃は15%の金額増となっている。

A 答弁 商工観光課長 指定管理により運営している施設は、毎月定例会議を開催し意見交換を行っているが、現時点では運営的に厳しいという意見は出てきていない。ただし、今後、コミュニティホールについては、状況により指定管

理料の見直しが必要になった場合は、年度協定締結時に協議を行い、予算を見直す可能性はある。

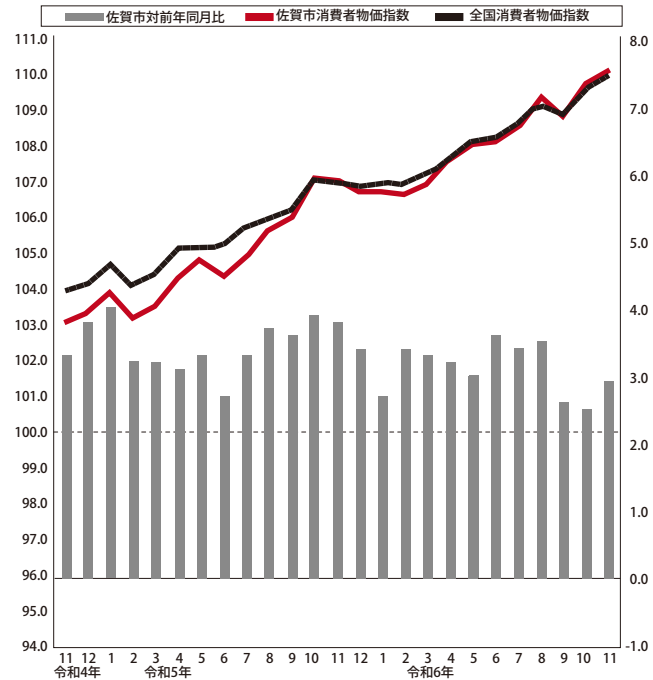
Q 質問 職員が出張した時の旅費など、条例に金額が決まっているものがある。これが実態に合わない金額になっていないか見直す必要があるのではないか。

A 答弁 総務課長 規定の額というものはあるが、その金額での宿泊が難しいケースでは事前に財政協働課及び総務課に相談をし、柔軟に運用できるようにはしている。

A 答弁 町長 首都圏などでは現行の9千8

物価高騰は今後も続いていくとみられる

消費者物価指数(全国・佐賀市 総合)及び前年同月比(佐賀市)



グラフ出典: さが情報統計館(佐賀県政策部統計分析課)

Q 質問 学校給食の食材等高騰での値上げは大丈夫か。

A 答弁 学校教育課長 保護者負担分で不足する食材費を学校給食費原材料高騰分補助金として令和4年9月より補助

している。

Q 質問 補助の財源は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金だが、これは永続する交付金ではない。なくなった場合の手当も町として考えるべきでは。

A 答弁 町長 国も物価高の影響は理解しているはず。物価が安定するまで、国への要望を続けて支援が途切れないようにしていきたい。

地域計画の策定は



木下 大学
議員



農林課長

令和6年度末までに策定する

Q 質問 農地台帳とは。誰でも見ることは可能か。

A 答弁 農林課長 農地に
関する情報を一筆
ごとに整理し記録した法
定台帳で、台帳及び地図
の公表が義務付けられ、
誰でも閲覧が可能。

Q 質問 令和3年4月から
農地転用許可等が
県より一部権限移譲され
たが、変わった点は。

A 答弁 農林課長 許可書
発行までの期間が
短縮され、住民サービ
スの向上につながっており
農業委員会総会が許可決
定の場となっている。

Q 質問 農地パトロールと
は。

A 答弁 農林課長 遊休農
地の発生防止・解
消等を目的に毎年1回、
農地を確認する。
すべての農地を対象に
パトロールを実施する。

Q 質問 違反転用を見つけ
た場合の対応は。

A 答弁 農林課長 耕作者
(所有者)に連絡
して、状況確認を行い、
状況によって原形復旧や
転用申請等を行うよう指
導する。

Q 質問 地域計画の策定に
向けた地区の集会
の結果は。

A 答弁 農林課長 令和6
年度末までに、地
域計画(10年後の目標図
【農地利用の将来設計

【図】を策定する。

Q 質問 さが園芸888運
動の令和4年度・
5年度に計上した支援事
業費補助金の使用は。

A 答弁 農林課長 令和10
年度の園芸農業産
出額888億円へ伸ばす
ことを目標とし、機械・
施設の整備に補助を行
う。

令和4年度いちごハウ
スの新設工事に約二千万
円、令和5年度いちごハ
ウス長寿命化対策費に約
242万円実施した。

資源ごみ売却について

Q 質問 過去3年間の売却
金額と売却金額上
位(アルミ缶・PTボト

ル・雑誌類・新聞・段
ボール)の売却金額は。
A 答弁 住民課長 リサイ
クルセンターに持
ち込まれた資源物の売却
金額は表のとおり。

主な資源ごみ	令和3年度 1,554,619円		令和4年度 4,867,830円		令和5年度 6,844,662円	
	(t) 重量	(千円) 売却	(t) 重量	(千円) 売却	(t) 重量	(千円) 売却
①アルミ缶	10.5	555	11.2	1540	17.4	2870
②PTボトル	22.9	252	25.5	1122	35.3	1242
③雑誌類	80.7	178	86.4	950	72.9	1042
④新聞	55.3	304	53.9	593	47.2	830
⑤段ボール	43.3	190	40.9	495	40.2	575

Q 質問 町民サービスの紙
ひも配布は、いつ
から廃止されたのか。
廃止された理由は。

A 答弁 住民課長 ごみ減
量化対策の取り組
みとしてリサイクルセン

ターの利用者等に無料で
提供していたが、令和5
年度中に在庫切れをもっ
て終了。環境学習研修費
及び花苗購入費に組み替
えた。

Q 質問 令和6年度からリ
サイクルセンター
の業務委託が町職員に変
更されたが、理由は。

A 答弁 住民課長 環境全
体の業務を町が直
接担うことが住民の利便
性や行政サービスの質を
高められると判断した。



リサイクルセンター

山口県下関市立 豊北中学校視察研修

総務文教厚生委員会
は、12月19日から20日
の日程で下関市立豊北中
学校の視察を行った。

豊北中学校は旧豊北町
が下関市と合併する前の
平成18年に町内4中学校
が統合して開校した。開
校にあたり「生涯学習の
拠点としての中学校」
「教科教室型運営の中学
校」「産業学習の場とし
ての中学校」「地域環境
と共生するエコスクール
としての中学校」「IT



中学校内に図書館が併設

教育を推進する中学校」
の5つの基本コンセプト
から学校運営がなされて
おり、地域への一般開放
が可能な図書スペースと
して図書館法に基づく豊
北図書館が整備されてい
る。



地域の人が集まれるスペースもある

また、廊下や特別教室
が広く取られており、ラ
ウンジ的な役割で地域の
人が集まりやすい形をし
ており、ふるさと教育と
して地域の方を校外講師
として招いての教育を
行っている。

一方で、地域の急激な

熊本市菊陽町 視察研修

少子高齢化による生徒数
の減少や、今後の豊北地
域の中心地からはやや外
れた立地など課題も散見
された。

本町の中心地づくり
において必須機能として建
設すべき施設は多岐にわ
たり、莫大な費用がかか
る。施設の複合化などコ
ストを抑える施策の選択
肢を考えるにあたって大
変実りのある視察となっ
た。

産業建設常任委員会
は、11月12日に熊本県菊
陽町を訪問し行政視察を
行った。当地において
は、世界最大手の半導体
受託生産メーカーTSMC
社の子会社である日本
法人JASMC社の創業に
より全国的に注目されて
いる町である。

本町においても県営産
業用地の開発により大手

半導体関連企業SUMC
O社の進出も決定し、
2029年操業に向けて
造成工事が進んでいる。

JASMC社創業に際し
て菊陽町では、隣接する
大津町や熊本市において
も大幅な地価高騰、賃金
上昇、関連企業の進出、
人口増加といった好景気
な状況が報道されてい
る。人口増加率も全国
トップクラス、令和6年
11月末時点では4380
7人ほどの人口は年々右
肩上がりです急増してい
る。

一方で渋滞問題、人手
不足、農地の減少、水源
問題など様々な問題も露
見している。JASMC社
はすでに創業が開始して
いるが、誘致に至るまで
の過程や課題は、本町の
今後の課題として学ぶべ
き点が非常に多く大変意
義ある研修となった。

全国から視察研修が求
められる人気の自治体で



産業建設常任委員会にて熊本県菊陽町を行政視察



大手半導体企業TSMC子会社JASMC社

(2名以上で参加した行事や会議等)

11月													10月							9月											
29	27	26	22	21	19	17	15	14	12	9	6	3	1	29	26	24	17	15	11	9	5	3	28	27	26	25	19	15	11	3	2
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
12月定例議会(10日)													戦没者追悼式							9月定例議会(13日)											
議会広報研修会													議会広報編集委員会							決算特別委員会(5日)											
神崎市吉野ヶ里町葬祭組合議会													SAGA2024国民スポーツ大会開会式							議会広報編集委員会											
議会運営委員会													三田川小学校研究発表会							吉野ヶ里町敬老会											
地域商工交流会													SAGA2024国民スポーツ大会閉会式							全員協議会											
東部環境施設組合議案勉強会													議会運営委員会							目達原駐屯地との懇話会											
全員協議会													第3回臨時議会・全員協議会							町村議会広報研修会(26日)											
首都圏吉野ヶ里会(18日)													議会広報編集委員会							防衛協会総会											
産業建設常任委員会視察研修(13日)													国民健康保険運営協議会							議会広報編集委員会											
大人としやべり場事業(東脊振小)													SAGA2024全国障害者スポーツ大会開会式							さざんか園敬老会											
議会運営委員会													筑後川水系合同同期成会総会																		

首都圏吉野ヶ里会



首都圏吉野ヶ里会であいさつする伊東町長

11月17日、町長及び吉野ヶ里町議会において首都圏吉野ヶ里会に参列した。

ふるさと吉野ヶ里を離れ、遠く首都圏にて暮らしの拠点を移されて活躍されている方々への激励と、町の近況の報告を兼ねて毎年開催されているものである。

今回は48名の方が参加され、和やかに会が進んだ。メンバーの皆様も高

齢化が進んでおるものの、毎年の参加を楽しみにしておられる方ばかりで話は尽きなかった。

SNS等インターネットを使い町の近況について情報交換などもされており吉野ヶ里町に住んでいる我々以上に情報を得られている方もおられ頼もしい限りだった。

自治体運営においても貴重な自主財源確保の手段としてふるさと納税の更なる強化は必須である。担当課も出席し寄付をお願いしつつ、町の特産品のPRに熱心に耳を傾けて頂いた。

ふるさとを出て首都圏で活躍されている若い世代の方も少なくは無い。若年層の参加など今後の会の刷新を模索しながら毎年の恒例行事を守っていきたいと鶴田会長は力強く述べられていた。

編集後記

明けましておめでとうございます。

12月の定例会では、9名の議員が一般質問に立ち、活発な議論が行われた。

いうまでもなく、議会は批判と監視の府で、町の財政運営等を批判・監督し、建設的な意見を盛り上げて財政との調和を図るべきか、また、どう監視・監督の眼を高めるべきか、議会議員の良識と研さんが求められている。

編集委員一同、期待される議会だよりの編集に邁進し、町民の皆様によりわかりやすい紙面を作っていく。

(古川)

○議会広報特別委員会

委員長 筒井佐十生

副委員長 森田 浩文

委員 古川 清春

〃 生島信一郎

〃 木下 大学

〃 鶴 恵美子